

漁師町の風情の残る町を訪ねる（報告）



平成24年10月21日（日）9時から13時に開催しました。

参加者60名は、かつて活気あふれた漁師町に思いをはせ、解説を聞きながらウォークしました。国登録の有形文化財やお寺の建築、海と深いかわりを持った漁師町特有の佇まい等、丁寧で解り易い説明を受けながら、「新たな発見や歴史への興味が深まった」「とても勉強になった」と好評のうちに終了することが出来ました。



四日市市富田地区市民センターに集合、秋晴れに恵まれた一日でした。



東海道を南へと進みます。



①

アミカン本社・正門・煉瓦塀……国登録有形文化財（建造物）近代産業による発展の面影を伝えています。建築士の羽生田さんより詳しく解説いただきました。



②

富田の一本松……参加者の女性より、“一本松”に関して祖父につながる思い出話（灯籠寄進や映画館の経営）を紹介いただきました。そばには山口誓子の句碑もあります。





③ 富田港↑…森協議会委員の解説



←今は埋立てられました。かつては白砂青松の海水浴場で、子供の頃を懐かしむ方々が多くいました。

④ 願入寺……浄土真宗本願寺派臨海庵道場として開基、古い歴史があります。昭和34年、伊勢湾台風の被害に遭い多くの文書が流出しました。明治の頃、富田小学校の分教場として子供たちの学び舎となっていました。今も本堂裏に子供らの落書きが残っています。





⑤ 太子堂



富田一色町界隈……漁業の町、水産加工の町として発展し、にぎわいました。

東富田町、富田一色町には次のような町名がありました。
南納屋町・中納屋町・北納屋町・片町・城町・南魚町・寺町・本町・北魚町・中川町・天神町・
蛭子町・新町一区・新町二区・豊富町第二・豊富町第一・江戸町・弁天町・布袋町・大黒町・
蛭子町・八軒町・堺町・南町・新町・寺町・広小路町・中町・七軒本町・北町・港町・旭町



⑥ 龍泉寺……浄土真宗高田派
森協議会委員と羽生田さんから内部建築や
装飾について詳しい解説を聞きました。
その後、近くの海産物店で地場産のつくだ
煮など買い物を楽しみ解散となりました。



ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。